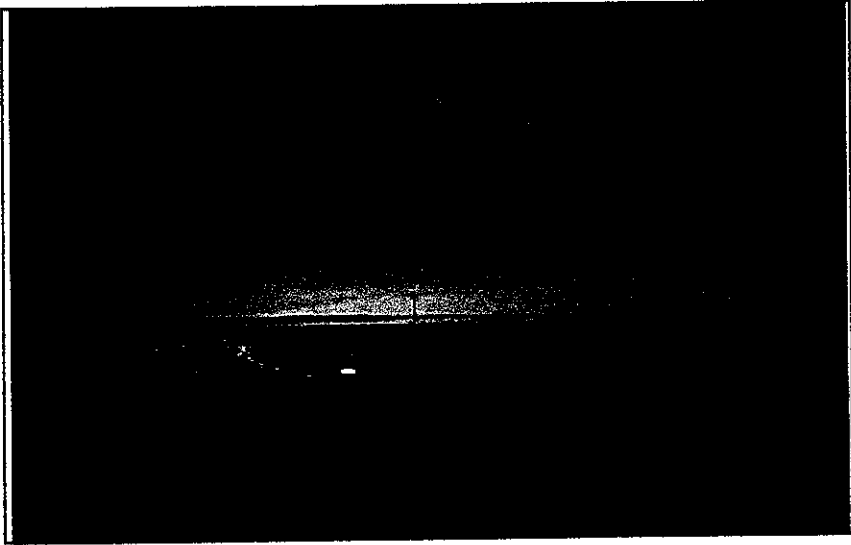


英米文化学会会報

第36号

平成10年7月21日版



オホーツクの夕陽

◆年度会費の納入について

現在、会員の会費納入状況を調べております。年会費未納の方には、財務よりお知らせが届きますので、会費納入の件、宜しくお願い致します。分科会内規案が理事会で承認され、「分科会活動をしている会員は当該年度の会費を早めに納入する」ということになりましたので、宜しくお願い致します。

尚、学会の口座は下記の2種類です。
郵便局：加入者名 英米文化学会
口座番号00160-7-611777

銀行：あさひ銀行毛呂山（もろやま）支店
加入者名 英米文化学会
普通預金口座番号 3505809
（財務担当理事 石川 郁二）

◆第16回大会の要項と抄録完成しました

第16回大会の要項と抄録ができあがりしましたので、会報に同封してあります。また、講演の要旨を、今号の会報に掲載しています。参加等の問い合わせは事務局に、発表内容などに関するご質問は、大会担当の曾村充利理事（電子メール sozumura@shimizu.ac.jp）までお寄せください。

大会期間中（8月28日朝から8月30日朝まで）の連絡先は事務局の佐藤治夫理事の携帯電話 [090-4533-1111](tel:090-4533-1111) のみとなります。開催校である東京農業大学へのお電話はご遠慮ください。同携帯電話による参加会員への取り次ぎを致しますので、上記の番号をご家族などにお伝えください。講演の録音テープの販売予約を事務局にて受け付けております（1本1,500円送料込み）。

◆『英米文化』投稿締め切りは10月31日です

『英米文化』第29号の投稿締め切りは10月31日です。投稿に関してのご質問は学術担当の田辺治子理事（電子メール tanabe@shimizu.ac.jp）までお寄せください。投稿規程は改訂されております。最新版の投稿規程は末尾に、学術委員長田辺治子理事の連絡先が入っているはずですのでご確認ください。投稿規程の最新版が必要な会員へは、電子メールまたはファックスにてお送りしますので、事務局までお申し込みください。

◆入会手続きが簡素化されました

現在は、会員数が200名を優に超える大所帯となっております。従来は、会員の紹介者を介し、例会・大会に出席いただいていたの入会方式を採用していましたが、地方からの入会問い合わせも増加してきましたので、このような内規を廃することとなりました。新しい入会手続きは：

- 1) 事務局に入会の問い合わせをする（郵便、ファックス、電子メールで可）
- 2) 入会案内と申込書送付
- 3) 会費納入
- 4) 入会手続き完了

という順序となります。財務担当者からの会費納入の連絡メールが事務局に入った時点での入会手続き完

了となります。郵便よりもファックスか電子メールだと手続きその他がより速やかに行われますので、お知り合いで入会希望者がいましたらそのようにお伝えください。

◆英米文化学会による出版

当学会の運営費用捻出活動の一環として刊行され、好評を博した *Words to Remember* の続編が、数名の会員のご尽力により10月に完成し、桐原ユニより出版予定。タイトルは *Enduring Voices* (仮題) の予定です。来年度のご使用教科書選定時にご一考いただければ幸いです。

◆分科会運営内規が決定しました

当学会は、かねてより分科会活動を推進して参りましたが、分科会数の増大に伴い、このたび分科会運営内規が決定となりました。内規は各分科会の代表者に郵送されますので、分科会の会員は代表者よりお受け取りください。分科会は、学術出版を目指して設立されておりますので、一人の会員が同時に所属できる分科会数は2つと制限されます。現在3つ以上の分科会に所属している場合は整理いただき、当該分科会代表者に退会を通知してください。なお、分科会発足の最小必要人数は会員3名、出版を期しての分科会の解散義務は従来と変わりません。

分科会の代表者は以下の会員です(敬称略)

| | | |
|--------|---------------|-------|
| 第2分科会 | アメリカ文学研究 | 佐藤成男 |
| 第3分科会 | シェイクスピア研究 | 門野 泉 |
| 第4分科会 | 英語教育 | 藤田牧子 |
| 第5分科会 | アメリカ文化 | 吉原令子 |
| 第7分科会 | 英文学研究 | 小林 弘 |
| 第8分科会 | 談話分析研究 | 鳥飼慎一郎 |
| 第9分科会 | 異文化コミュニケーション | 浅間正通 |
| 第10分科会 | フェミニズムとアメリカ研究 | 吉原令子 |
| 第11分科会 | ジョハース研究 | 伊東田恵 |

ご質問等は、分科会委員長 五味田幸夫理事(電話/Fax 0462-55-6287)までご連絡ください。

◆事務局より

◆住所変更

◆新入会員

◆電子メールアドレスをご連絡ください

現在のところ約60名の会員が、電子メールアドレスを取得されております。ご勤務先で電子メールアドレスを発行している場合は、ぜひ学会事務局までメールにてお知らせください。学会のニュースなど、メール到達可能会員への英米文化学会からのサービスが始まっております。紙の形式の当学会会報よりも格段に早くニュースなどをメールにて配布しております。

メールアドレスを発行してもらっていないが、インターネットのページを図書館などで閲覧可能な会員は、以下の URL を打ち込むと

<http://www.robotmail.ne.jp/> 日本語でメールの送受信ができます（国内で便利）
<http://www.hotmail.com/> 英語でメールの送受信ができます（海外で便利）

無料でメールアドレスを発行してもらえます。コンピュータを所有していなくても電子メールの送受信が可能となりますので、週に2回程度の頻度でメールをチェックできそうな会員は試してみてください。メールアドレスが発行された場合は、会報末尾の事務局佐藤治夫先生のメールアドレスにメールを出してください。確認のメールと、英米文化学会会員のメールアドレス集が返送されます。NiftyServe などの BBS システムの会員もメールアドレスを登録してください。

第16回大会講演要旨

『スーパーマン』の誕生

専修大学教授 大島良行

1935年のクリーヴランドは不況に苦しんでいた。製鉄と鉄工業のこの都市の煙突は煙を吐かず、街には無料の給食にありつこうとする失業者の列ができていた。1932年に新大統領フランクリン・ローズベルトがニューディール政策を携えて登場したが、彼のいう完全雇用はおろか、失業者が減る様子さえもあまりみえなかった。路地裏には貧困がしみついていて、しかし、ユークリッド・アヴェニューだけは豪邸が立ち並び、不況など知らないようであった。そこだけがアメリカン・ドリームを具現しているように見えた。

この不況下の年のグレンヴィル・ハイスクール (Grenville High School) に、アメリカン・ドリームを抱く少年がいた。彼は小柄で体力もなく、男らしさと逞しさを誇りとする他の少年には、運動ではか

なわなかった。彼ジュリー・シーゲル (Jerry Siegel) は聖書や小説や偉人伝を愛読したことで、他の少年と異なっていた。しかし、映画が好きな点では他の少年と同様だった。ハリウッド製の西部劇の英雄やターザンに親しんだ。映画『キッド』*Kid* (1926、ファースト・ナショナル) や『黄金狂時代』*The Gold Rush* (1926、ユナイテッド・アーチスト) のチャーリー・チャップリン (Charlie Chaplin) や、1928年にトーキー短編映画「蒸気船ウィリー号」"Steamboat Willie" で人気を得たウォルト・ディズニー (Walt Disney) 作のミッキー・マウス (Mickey Mouse) に引かれた。彼の父親は洋服生地屋だった。同級生に仕立て屋の息子で絵が上手な少年ジョー・シャスター (Joe Shuster) がいた。ジョーはジェリーの指示どおり絵を描いた。ヘラクレス、アポロ、サムソンなど神話や伝説の人物のほか、アメリカの伝説上の人物ポール・バニアン (Paul Bunyan) や鉄鋼の町らしい伝説の人物ジョー・マガラック (Joe Magarac) も彼らの頭に浮かんだ。このほか、実在したディヴィ・クロケット (Davy Crockett) やマイク・フィンク (Mike Fink) などの絵も描き、それに架空の人物ターザンやローン・レンジャー (Lone Ranger) も加えて合成した。こうして出来上がったのが『スーパーマン』の姿だった。

"Faster than a speeding bullet, more powerful than a locomotive, able to leap tall buildings at a single bound, look! Up in the sky! Is it a bird? Is it a plane? It's Superman!!"

「弾丸よりも速く、機関車よりも力があり、ひと飛びで高層ビルを飛び越せる、見てごらん! あの空を! 鳥かしら? 飛行機かしら? あれがスーパーマン!!」

これがラジオやテレビで放送されるときナレーションである。

ターザンは裸であるが、実は貴族グレストーク卿 (Lord Greystork) である。ローン・レンジャーは仮面をつけて拳銃を持って馬に乗る。ロビン・フッドのアメリカ版ゾロ (Zorro) も仮面を付けて剣を持って馬に乗る。おまけにこのジョンストン・マッカリー (Johnston McCulley) 作『怪傑ゾロ』*Mark of Zorro* の主人公は大地主で、黒いマントを着ている。そのどれもが作者の少年たちには気に入らなかった。彼らの設定した男のイメージに合わなかった。彼らはスーパーマンを『明日の男』"Man of Tomorrow," 『鋼鉄の男』"Man of Steel," 『布地の男』"Man of Cloth" にすることに決めた。



New York 1939

英米文化学会会報 第36号 編集・発行：英米文化学会編集委員会=池田 広子、小川 喜正、岸山 睦、武井 朗子、中村 豪、宮崎 敬子、山根 正弘

発行責任者：中村 豪 氏

問い合わせ先 英米文化学会事務局 佐藤治夫 氏
学会ホームページ <http://www.threeweb.ad.jp/~shakey23/>